

●11月9日・10日、岸和田市で開催された赤煉瓦ネットワークの大会に参加させていただき、煉瓦展示をさせていただきました。北は北海道から南は沖縄まで、全国各地津々浦々から来られた皆さんに、関西の煉瓦の奥深さを「これでもか」ちうくらいにご紹介することができました。ORJを見て来てくださった方もあり、まこと、研究者冥利に尽きるというものでございます。

そんなわけで冥利が尽きてしまい、翌日から風邪を引いてしまって、今もゴホゴホいいながら&フラフラしながらこれを書いております。今号記事で銅山越が越えられなかったのもそのせいにして……。言い訳はよろしくないですが、そう理解したうえで言い訳しておきます。まことにすみません。(そういえば、一昨年に勝手に煉瓦展をやった時も、その直後から体調を崩したような気が……) (な)

●「徒歩にて入山し、泥に浸かり藪を漕ぐこと数時間でやっと到達」、  
と伝え聞いて、行く気力が萎えていたくせに、  
「坑口付近までクルマで行けるようになった」、  
とのレベルまで整備されると、急に興味を失うのはどうしたことか>万世大路。  
「自分本位なさじ加減に合致する廃道」を望んでるわけではないのに。(つ)

